

古河歴史見聞録

1964年東京オリンピックの聖火リレーとトーチ

オリンピック開催中に会場で聖火を灯し続ける取り組みは、近代オリンピックでは1928年のアマステルダム大会が始まりで、1936年のベルリン大会から聖火リレーが行われるようになりました。

聖火リレースタート

1年間延期されていた東京2020オリンピックの聖火リレーが、3月25日に福島県楡葉町の「ナショナルトレーニングセンター」からスタートしました。

茨城県に聖火が来るのは、7月4・5日で、4日は鹿嶋市の鹿島神宮がスタート地点です。5日は古河市がスタート地点となっており、古河駅西口から市役所古河庁舎までのコースをランナーが走ります。その後、坂東市、常総市、牛久市、龍ヶ崎市、行方市、土浦市、つくば市へと聖火をつなぎ、つくば市の研究学園駅前公園がセプレレーション会場(ゴール)になります。

1964年の聖火リレー

1964年の東京大会の聖火リレーが始まったのは8月21日。ギリシャのオリンピックアで採火され、翌日アテネを出発、聖火空輸特別機「シティ・オブ・トウキョウ号」と870人の走者によって、トルコのイスタンブールからアジアの11中継都市を巡りました。9月7日に台北を経て、当時アメリカの統治下にあった沖縄に到着。沖縄を走った後、リレーは鹿児島、宮崎、千歳の3か所を起点とする4つのコースに分かれて東京を目指しました。聖火はすべての都道府県を回り、有楽町にあった東京都庁前に集められ、その後皇居前広場の聖火台に移されました。10月10日の開会式当日に最終聖火リレーが行われ、国立霞ヶ丘陸上競技場(旧国立競技場)の聖火台に点火されました。参加した走者は10万713人だったといわれています。茨城県では10月2日から5日の期間、95区間で1区間20人前後のグループがリレーで聖火をつなぎ、

中高生や青年団から選ばれた若者たち約2千人が参加しました。栃木県小山市から茨城県に入った聖火は国道50号線を東進、水戸市から国道6号線を南下し、土浦市から江戸崎方面へ進み、県境となる東村(現稲敷市)の水郷大橋付近で千葉県側に手渡されました。

古河市は当時の古河市、総和村、三和村からそれぞれ7名ずつの走者が参加、10月2日に結城市公民館に集合し、リレーに参加しました。

1964年の聖火リレートーチ
三和資料館には、1964年東京大会の聖火リレーのトーチが保

管されています。このトーチは、総和村の走者からリレー後に寄贈を受け、当時、村の教育委員会で公開していました。鑄鉄製の黒いホルダーには「オリンピックシンボル」XV III OLYMPIC D TOKYO 1964」と刻まれています。

このトーチは三和資料館の第32回館蔵資料展「館蔵資料にみるスポーツ」武道・相撲エトセトラ(6月12日)で公開します。また、オリンピックを知り、学びたい人には「日本オリンピックミュージアム」(新宿区霞ヶ丘町)の見学をお勧めします。

三和資料館学芸員 小林靖



▲1964年東京オリンピック聖火リレーのトーチと刻字

【児童・読み物】

ベランダに手をふって

葉山エミ 作

父親を亡くした輝は、同じく父のいない同級生の香帆と仲良くなる。香帆は、母親と二人で再出発するために、運動会での二人三脚競争に強い想いをかけていた。しかし運動会の日…。

出版社…講談社

【一般・小説】

卑弥呼とよばれた少女

森山光太郎 著

卑弥呼となることを決意した、王家の血を継ぐ15歳の少女・翡翠命。「唯一を望む者(御真木)」と「唯一を望まねばならぬ者(翡翠命)」、そして「唯一である者(曹叡)」の欲望と信念が交差し、新たな時代が幕を開け…。

出版社…朝日新聞出版

図書館の本棚から

【一般・人生訓】

どうして、わたしはわたしのの？

トミ・ウンゲラー 著

どうしてお金があるの？ 神さまをつくったのはだれ？ 絵本作家トミ・ウンゲラーが、ユーモアと風刺をこめたイラストと共に、悩める子どもにアドバイス！ 子どもから大人まで誰もが自由になれる哲学入門書。

出版社…現代書館



【絵本】

でんしゃくるかな？

きくちちき 作

くるかな？ くるかな？ きりんやぞう、ライオンたちが電車を待っています。ホームに電車が滑りこんでくると「きたー！」と、みんな大喜び。そして「ばいばーい」と、手を振って…。

出版社…福音館書店



三和図書館

1968 昭和43年



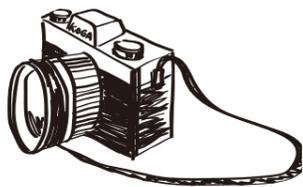
所蔵：古河歴史博物館

昭和43年、交通量の多い国道125号線の小堤交差点付近に歩道橋が架設されました。小堤小学校に通学する児童たちの安全が今でも守られています。

【募集】このコーナーに掲載する昔の総和地区の写真を探しています。お持ちの人は☎シティプロモーション課(TEL92-3111)までご連絡ください。

古河 今昔物語

Time Travel Photograph



2021 令和3年

